

● 活動目的

成育医療とは、胎児から始まって、新生児・小児・思春期を経て次世代を生み育てる成人世代の心身の健康まで、リプロダクションのサイクルを連続的・包括的に捉える医療を意味しています。当研究室の主要構成員は小児内科医(新生児科、一般小児科)であり、小児内科一般の臨床研究を扱っています。当小児科には、新生児、内分泌、神経、感染症、アレルギー、代謝、腎のそれぞれの専門家がいたため多方面にわたる分野の臨床研究及び治験等に柔軟に対応しています。また、24時間救急医療も診療の柱としておりますので、救急医療への取り組み方も研究対象としています。更に、多数の初期及び後期研修医並びに大学からの学生実習を受け入れているため、教育という面にも力を入れており、効率的且つ効果的な研修のあり方についても研究の対象としています。

最近の主な研究テーマは、①SGA 出生児の発育・発達に関する研究、②成長ホルモン治療の甲状腺機能に及ぼす影響に関する研究、③代謝疾患の酵素補充療法に関する研究、④脂質に関する研究、⑤成長ホルモン分泌負荷試験の効率的運用に関する研究、⑤熱性けいれん頭部 MRI 画像検査における ASL 基準値の評価に関する研究、⑥学校保健における発達評価研究などと、他施設との共同研究による①即時型食物アレルギーの全国調査、②先天代謝異常症患者 QOL 全国調査、③母乳育児と遷延性黄疸の研究、④新生児低体温療法に関する研究、⑤早産児慢性肺疾患に関する研究、⑥脊髄性筋萎縮症マスキングシステムの確立に関する研究、⑦Noonan 症候群類縁疾患の遺伝子解析、更に他職種との共同研究として、①2 週間以上の入院を余儀なくされた子どもの学習環境調査、②長期入院患者のオンライン授業導入に関する研究などがあります。

救急医療も診療の柱としているため研究に割くための時間が十分ではなく、また研究助手的立場の人間がいなくて雑務から全て自らの手でやらないといけないため運営に困難を極めているのが現状ですが、各自年 1 回の学会発表と 1 編の論文発表を努力目標としています。

共同研究も積極的に受け入れています。どうぞお気軽にご連絡ください。また、逆に当研究室から発する共同研究へのご協力もよろしくお願い致します。

● 活動状況

1. NHO ネットワーク共同研究(成育医療)
2. 岡山大学教育学部、岡山大学医学部公衆衛生学教室との共同研究(SGA 児について)
3. 治験(成長ホルモン、酵素製剤、抗 RS ウイルス薬)
4. 市販後調査

● 研究業績

1. 論文発表

- 1) Kaori Fujiwara , Junya Shimizu , Hirokazu Tsukahara , Akira Shimada ; Lupus anticoagulant-hypoprothrombinemia syndrome and immunoglobulin-A vasculitis: a report of Japanese sibling cases and review of the literature 39;1811-1819

- 2) 白神浩史、中村信、久保俊英;精神症状の先行した急性散在性脳脊髄炎の1例、60巻10号 P.1429-1432(2019.09)
- 3) 白神浩史、山脇由希子、小倉和郎、久保俊英;無菌性髄膜炎後に発症した急性散在性脳脊髄炎の2例、51巻11号 P.1838-1842(2019.11)
- 4) 原 成未、清水 順也、服部 真理子、浦山 建治、久保 俊英;リツキシマブ投与後の初回再発時に急性腎不全を伴ったネフローゼ症候群の1例、日本小児腎不全学会雑誌 39巻 P.231-233(2019.07)
- 5) 越智 元春、清水 順也、篠山 美香、片山 修一、茂原 研司、服部 真理子、駒澤 徹、久保 俊英;壊死性筋膜炎を契機に診断した乳幼児自己免疫性好中球減少症、日本小児科学会雑誌 123巻8号 P.1272-1277(2019.08)
- 6) 塩入 幹汰、土屋 弘樹、原 成未、金谷 誠久、清水 順也、人見 浩介、中原 康雄、久保 俊英;白血球尿を呈さず、画像所見により診断が得られた急性巣状細菌性腎炎、腎膿瘍の一例、岡山医療センター年報 15巻 P.336-337(2019.09)
- 7) 酒井 悠佑、久保 俊英、清水 順也、井上 拓志、浦山 建治、西村 佑真、赤木 祐介、茂原 暁子;小児期に3度の再発を来した顔面神経麻痺の一例、岡山医療センター年報 15巻 P.322-323(2019.09)
- 8) 福元 花奈、井上 拓志、金谷 誠久、久保 俊英;Arterial Spin Labelingで頭痛発作急性期の脳血流変化を観察し得た小児片頭痛の一例、岡山医療センター年報 15巻 P.328-329(2019.09)

2. 学会、研究会

- 1) 教育セミナー11 ムコ多糖症VI型の日本人兄妹症例に対する酵素補充療法の経験～早期治療の重要性～
古城真秀子
第122回日本小児科学会学術集会、 2019/4/19
- 2) 喘鳴、肝脾腫、ミオクローヌスを呈しゴーシェ病II型と診断された1例
古城真秀子
第2回神経型ゴーシェ病セミナー、 2019/6/29
- 3) 神経症状のコントロールに難渋しているゴーシェ病II型の1例
古城真秀子
Gaucher Meet the Expert in Fukuoka、 2019/8/3
- 4) ムコ多糖症VI型小児患者に対するポリ硫酸ペントサン投与の検討
古城真秀子
第23回日本ムコ多糖症研究会、 2019/8/17
- 5) 腎生検で発見されたM296I変異によるファブリー病の母子例
古城真秀子

- 岡山ライソゾーム病ミーティング、 2019/10/11
- 6) 腎生検で発見された M296I 変異によるファブリー病の母子例
 古城真秀子
 第 13 回ファブリー病シンポジウム、 2019/3/2
- 7) ライソゾーム病の診断 up-to-date ライソゾーム病・早期診断の重要性～きたいされる新生児
 マスクリーニング～
 古城真秀子
 第 17 回アジア先天代謝異常症シンポジウム、 2019/10/24
- 8) 先天代謝異常症字の医療的ケア
 古城真秀子
 第 61 回日本先天代謝異常学会総会、 2019/10/26
- 9) こどもの健やかな成長と新しい新生児マスクリーニング
 古城真秀子
 母子保健指導者研修会、 2019/11/26
- 10) 病院からの在宅移行支援
 古城真秀子
 岡山市医療的ケア児研修会、 2019/12/1
- 11) 先天代謝異常症女性患者の妊娠に対して周産期管理を行った 2 症例
 古城真秀子
 岡山先天代謝異常症セミナー、 2019/12/21
- 12) 発汗低下が診断の契機となったファブリー病の 2 家系
 古城真秀子
 出雲ファブリー病シンポジウム、 2020/2/21
- 13) 一部に膜性変化を認めたが、治療が奏功した紫斑病性腎炎の 1 例
 江淵有紀、清水順也、神農陽子
 第 76 回岡山腎疾患懇話会、 2019/4/6
- 14) 腎生検を施行した蛋白尿の 1 例
 清水順也
 第 23 回岡山小児腎雑談会、 2019/5/8
- 15) 岡山県南東部における溶連菌感染後急性糸球体腎炎の検討

- 清水順也、久保俊英、他
第 54 回日本小児腎臓病学会学術集会、 2019/6/6-8
- 16) 高張性脱水を伴う急性腎前性腎不全に引き続き、横紋筋融解症、DIC を合併した一例
岸美智子、清水順也、難波貴弘、浦田奈生子、井上拓志、久保俊英
第 77 回岡山腎疾患懇話会、 2019/10/12
- 17) 無治療で自然軽快したネフローゼ症候群の一例
越智元春、清水順也、石田将大、藤永祥子、久保俊英
第 36 回中国四国小児腎臓病学会、 2019/10/20
- 18) 侵襲性肺炎球菌感染症により電撃性紫斑病を呈した一例
越智元春、土屋弘樹、井上拓志、清水順也、久保俊英
第 71 回 中国四国小児科学会、 2019/11/9-10
- 19) 高張性脱水を伴う急性腎前性腎不全に引き続き、横紋筋融解症、DIC を合併した一例
岸美智子、清水順也、難波貴弘、浦田奈生子、井上拓志、久保俊英
第 41 回日本小児腎不全学会学術集会、 2019/11/28-29
- 20) 腹壁のれん縮を主徴とした原発性脊髄性ミオクローヌスの女児
浦田奈生子
第 30 回日本小児神経学会中国四国地方会、 2019/7/20
- 21) レベチラセタムが著効を示した頭部外傷後 West 症候群の 1 例
井上拓志
第 98 回岡山小児てんかん懇話会、 2019/9/5
- 22) ビデオ記録により発作症状を詳細に観察しえた shuddering attacks の 2 症例
井上拓志
第 92 回日本小児科学会岡山地方会、 2019/12/1
- 23) 骨形成不全症の遺伝子解析と臨床像の検討
樋口洋介
第 92 回日本内分泌学会学術総会、 2019/5/10
- 24) GH1 異常症の一例
樋口洋介
第 20 回日本内分泌学会中国支部学術集会、 2019/9/7
- 25) 骨形成不全症の遺伝子解析と臨床像の検討

- 樋口洋介
第 53 回日本小児内分泌学会学術集会、 2019/9/27
- 26) Japanese pediatric bone age assessment system using convolutional neural networks.
樋口洋介
第 53 回日本小児内分泌学会学術集会、 2019/9/27
- 27) 骨形成不全症の遺伝子解析と臨床像の検討
樋口洋介
第 29 回臨床内分泌代謝 Update、 2019/11/30
- 28) 一部に膜性変化を認めたが、治療が奏功した紫斑病性腎炎の 1 例
江渕 有紀
岡山腎疾患懇話会、 2019/4/6
- 29) 学校での成長曲線の活用による 発育の評価の実臨床への影響
江渕 有紀
岡山小児医療研究会、 2020/6/1
- 30) 学校での成長曲線の活用による発育評価の推奨で、どう変わったか？－実臨床への影響－
江渕 有紀
小児内分泌学会、 2019/9/26
- 31) 侵襲性肺炎球菌感染症により電撃性紫斑病を呈した一例
越智元春
第 71 回中国四国小児科学会、 2019/11/9
- 32) 無治療で自然軽快したネフローゼ症候群の一例
越智元春
第 36 回中国四国小児腎臓病学会、 2019/10/20
- 33) 有熱時けいれん患者における頭部画像検査の実状と有用性についての検討
土屋弘樹
第 122 回日本小児科学会学術集会、 2019/4/19
- 34) MRI arterial spin labeling 法を用いた有熱時発作後超急性期の脳血流評価
土屋弘樹
第 53 回日本てんかん学会学術集会、 2019/10/31
- 35) 肝性脳症の病状病態把握に脳波モニタリングが有用であった 1 症例

- 土屋弘樹
第7回全国てんかんセンター協議会 広島大会、 2020/2/8
- 36) Common approach to childhood obesity in Japan
久保俊英
香川県善通寺市(特別講演)、 2019/6/14
- 37) 座長
久保俊英
第33回日本小児救急医学会、 2019/6/22
- 38) SGA 性低身長症～治療上の留意点と発達～
久保俊英
山口県山口市(研究会)教育講演、 2019/8/1
- 39) 座長
久保俊英
第92回日本小児科学会岡山地方会、 2019/12/1
- 40) オマリズマブが著効し、入院を回避できた重症心身障害児の1男児例
藤永祥子
第56回日本小児アレルギー学会、 2019/11/3